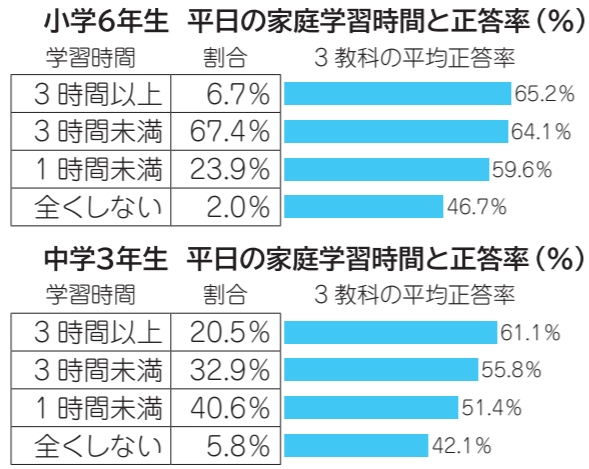


平日のゲーム時間は年々増加しており、特に、「ゲームを一日4時間以上している」小学6年生は、5年前の平成29年と比較して5倍に増加しています。
小・中学生ともに、すべての教科において、長時間ゲームをしていると、正答率が低くなる傾向にあります。

1日のゲーム時間は？



小・中学生とも、すべての教科において、学習時間が長いと正答率が高くなる傾向にあります。

1日の勉強時間は？



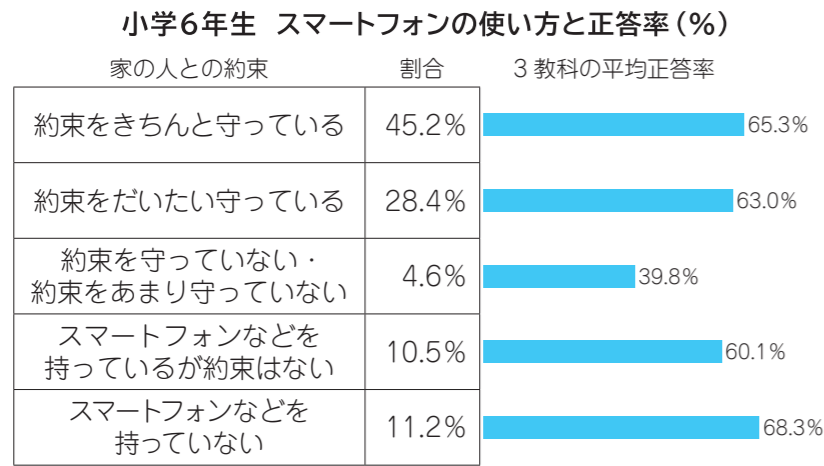
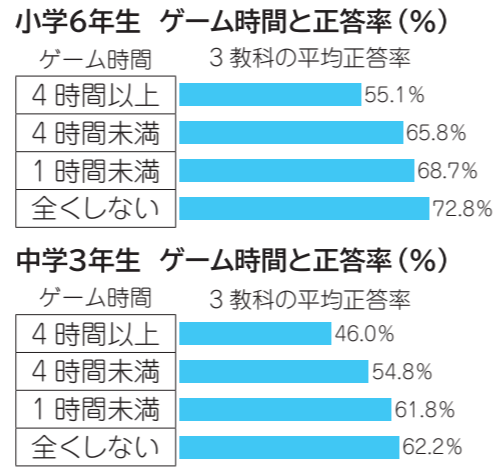
小学6年生 [H29]		[R4]	
ゲーム時間	割合	割合	
4時間以上	4.9%	20.9%	
4時間未満	47.4%	58.8%	
1時間未満	33.4%	14.5%	
全くしない	14.3%	5.8%	

5年間でゲームの時間が急増
「1日4時間以上」が5倍以上
「全くしない」は半分以下に

中学3年生 [H29]		[R4]	
ゲーム時間	割合	割合	
4時間以上	8.1%	13.7%	
4時間未満	50.1%	54.9%	
1時間未満	23.3%	18.2%	
全くしない	18.5%	13.2%	



ゲームの時間、ちょっと考えてみようかな？



スマートフォンなどの使い方について、家の人との約束を守っている小・中学生は、正答率が高い傾向にあります。
小学6年生のスマートフォンの使い方と正答率の関係を見ると、「スマートフォンなどを持っていない」と回答したグループの正答率が最も高い結果となりました。

スマホやパソコンを使うときのルールは？



学校教育課
教育政策係
TEL 81-9052

ですが、一方的に言い聞かせるだけでは難しい場合があります。「お子さんの良さを努力を認める声かけ」や「励ましの言葉」を大切にしながら、お子さんと話合ってみましょう。

家庭における重要なポイントは、

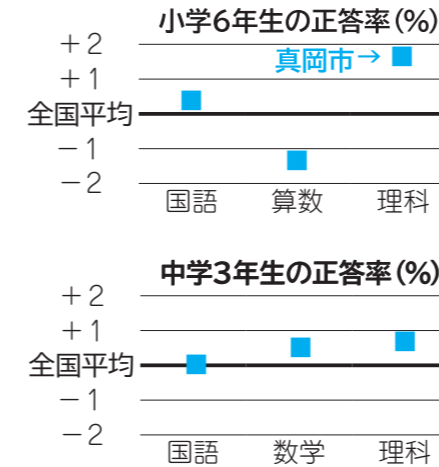


スマホなどを使うとき
家の人との約束を守っている



家庭学習に
しっかりと取り組んでいる

正答率の高い
子どもの特徴は？



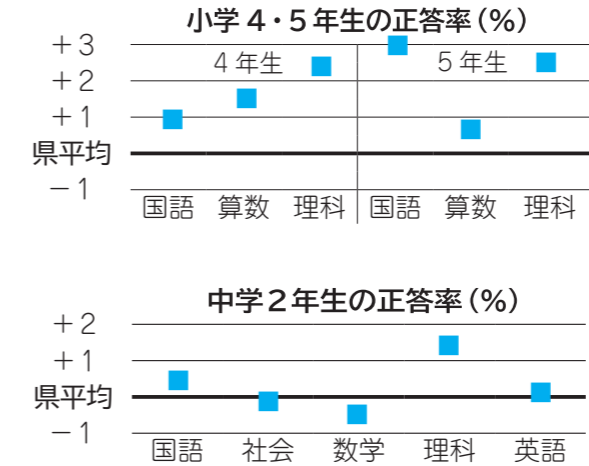
小学6年生は、算数でやや全国平均を下回ったものの、理科では上回りました。漢字の書き、かけ算の筆算などの基本的な問題において、正答率が高い傾向が見られました。
中学3年生は、数学・理科でわずかに全国平均を上回りました。数学では、「数と式」に関する問題の正答率が高い結果となりました。

全国平均と比較した
真岡っ子の正答率は？



各学校では、今回の結果を踏まえ、実態に即した具体的な対応策に取り組んでいます。例えば、記

学校の授業は？



小学4・5年生は、3教科ともに県平均を上回りました。3教科とも基本的な問題の正答率が高く、多くの児童に定着していることが分かりました。
中学2年生は、理科がやや上回り、他の教科は同程度でした。理科では特に「生命」に関する問題の正答率が高い結果となりました。

栃木県平均と比較した
真岡っ子の正答率は？

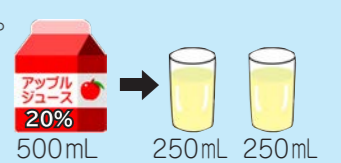


小6算数問題に挑戦！ 日常生活でよくある場面から出題されています

【問題】りんごの果汁が20%含まれている飲み物が500mLあります。この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250mLになります。250mLは、500mLの2分の1の量です。このとき、

②にあてはまる文を下の①～③から選んでください。

- ①果汁の割合も2分の1になります。
- ②果汁の割合は2倍になります。
- ③果汁の割合は変わりません。



学んだことと日常生活での経験に関連付けて考えましょう

正解は③です。(市内小学6年生の正答率 17.2%)

※ R4 全国学力・学習状況調査 小学6年生 算数から引用